

科目区分	専門教育科目	科目名	領域「環境」の指導法 (実務家教員担当科目)		科目コード	21Y420	担当者	本村 弥寿子			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
			授業形態	演習							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目			保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)			免許・資格要件	幼稚園教諭選択必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
領域「環境」のねらい及び内容を理解し、それを踏まえた保育を構想する方法を身に付ける。						1. 「 反心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	領域「環境」のねらい及び内容を理解する。										
2.	領域「環境」に関わる様々な体験と、小学校以降の教科等のつながりを理解する。										
3.	乳幼児期の心情、認識、思考及び動き等を考慮した保育を構想する。										
4.	模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付ける。						○	◎	◎	○	
5.	領域「環境」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を踏まえ、保育を構想する。					成績評価の方法と割合					
授業方法						発表内容 (50%) 提出物 (30%) 受講態度 (20%)					
教科書・参考書をもとに講義形式で行い、模擬保育ではグループ活動を取り入れる。											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出物の確認し、授業で紹介したり個別に対応したりする。						30~60分					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第1回	オリエンテーション、保育における「環境」について					領域「環境」のとらえ方について教科書を読んで予習する。					
第2回	領域「環境」のねらいと内容、内容の取扱い					3法令の「環境」を確認しておく。					
第3回	領域「環境」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」					3法令解説に目を通し、10の姿について予習する。					
第4回	領域「環境」と小学校との連携					3法令解説に目を通し、小学校との連携について予習する。					
第5回	領域「環境」と保育実践の検討					実践したい活動を選び、保育の流れを考えておく。					
第6回	保育指導案の立案と作成①					実践したい活動を、授業を踏まえ指導案として書き上げる。					
第7回	保育指導案の立案と作成②					指導案をもとに流れを確認し準備を進めておく。					
第8回	模擬保育の実践①					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第9回	模擬保育の実践②					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第10回	模擬保育の実践③					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第11回	模擬保育の実践④					模擬保育の準備及び反省をまとめておく。					
第12回	模擬保育の振り返り					すべての模擬保育の反省をまとめる。					
第13回	保育計画の評価と改善					保育の反省の視点に沿って活動を振り返っておく。					
第14回	現代社会と子どもを取り巻く領域「環境」の課題					教科書に目を通し課題について理解しておく。					
第15回	総合討論「子どもと環境」					模擬保育をもとに「子どもと環境」について考えをまとめておく。					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	新しい保育講座9 保育内容「環境」 久保健太・高嶋景子・宮里暁美 編著 ミネルヴァ書房				受講生へのメッセージ	乳幼児を取り巻く環境の意味を考え、より良い保育環境についてともに考えましょう。					
参考書等	幼稚園教育要領、保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領及びそれらの解説				実務経験に関する情報	①経験内容	元幼稚園教諭・小学校教諭				
						②科目との関連	幼稚園・小学校教諭としての業務経験を基に実技に即した指導を行う				